

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

取組番号		1-2-7	取組項目名		生活支援コーディネーターの配置による生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築				
所管		健康福祉		局	長寿社会		部	長寿支援	課
〔P〕 取組内容	実施内容	日常生活圏域に生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、地域内の人的資源・社会資源を発掘・開発等を行うとともに、高齢者の集いの場の創出など社会参加の場づくりによる介護予防・生活支援を促進します。							
	目標	H30	生活支援コーディネーターの配置を拡充し、身近な圏域における住民主体による地域課題の解決力を強化する体制づくりの実践を通じて、全市展開について協議						
		R1	平成29年度、平成30年度の取組を踏まえ、生活支援コーディネーターの全市展開						
		R2	次期地域福祉計画（計画期間：平成32年度～）に基づき、新たな事業や施策につなげる取組を継続実施						
〔D〕 実績・進捗状況	H30	堺区・東区へ生活支援コーディネーターの配置を拡充し、身近な圏域における住民主体による地域課題の解決力を強化する体制づくりの実践を通じて、全市展開について協議を行った結果、北区へ拡充することが決まった。							
		H30の達成度	b	〔基準〕 a: 上回って（前倒しで）達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成					
	R1	北区へ生活支援コーディネーターの配置を拡充し、身近な圏域における住民主体による地域課題の解決力を強化する体制づくりの実践を通じて、全市展開について協議を行った結果、全市へ拡充することが決まった。							
		R1の達成度	b	〔基準〕 a: 上回って（前倒しで）達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成					
		H30～R1の達成度	b	〔基準〕 a: 上回って（前倒しで）達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成					
	R2	西区、美原区へ生活支援コーディネーターの配置を拡充し、全市への配置を行った。その結果、新たに68箇所の集いの場の創出と、従来からある通いの場123箇所の活性化により、高齢者の社会参加の推進に取り組んだ。							
		R2の達成度	b	〔基準〕 a: 上回って（前倒しで）達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成					
		H30～R2の達成度	b	〔基準〕 a: 上回って（前倒しで）達成 b: 達成 c: 概ね達成 d: 未達成					
	行革効果額の見込み及び実績			平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		見込み		-	百万円	-	百万円	-	百万円
実績			-	百万円	-	百万円	-	百万円	
〔C〕 評価	評価	B	〔基準〕 S:優良 A:良好 B:普通 C:不良						
	課題分析	新たに生活支援コーディネーターとして配置された職員の育成や、集いの場や社会資源等の情報発信が課題となっている。							
〔A〕 改善策	改善策	業務システム導入によるデータの蓄積および活用を行い、他区の先進事例や先輩職員の実践手法を学ぶため、隔月で各区から若手職員が実践の共有や企画を検討する場を設け、先輩職員からフィードバックを受ける等、人材育成を推進する。 また、ICTの活用による有効な情報発信の手法について検討する。							
備考									